

ほけんだより
かけはし

館林特別支援学校
令和3年度3月号



早いもので、今年度も残りわずかとなりました。

新型コロナウイルス感染症の大流行により、今年度も感染症への注意が必要となりましたが、感染症対策にご協力いただきまして、本当にありがとうございました。終息までの道のりはまだ長くかかりそうですが、元気よく学校生活を過ごせるよう、来年度も引き続きご理解とご協力をよろしく申し上げます。

3月の保健目標：耳を大切にしよう!!

3月3日は「耳の日」です。「耳の日」は難聴と言語障害をもつ人々の悩みを少しでも解決したいという、社会福祉の願いから始められたもので、昭和31年に制定されました。ちなみに3月3日は電話の発明家で、ろう教育者でもあったグラハム・ベルの誕生日でもあります。

子どもに多い中耳炎

中耳炎は鼓膜の奥の中耳という空洞に、細菌が入り込み炎症が起きたり、滲出液（炎症の起こった所にしみ出してくる液）がたまったりする病気です。中耳炎には「急性中耳炎」、「滲出性中耳炎」「慢性中耳炎」の3つがあります。



【急性中耳炎】

のど・鼻についた細菌やウイルスが耳管を通して中耳に入り炎症を起こします。大部分は「鼻かぜ」に合併して起こります。好発年齢は6か月～6歳位で、3歳をすぎると急に減少します。

症状・・・耳の痛み、発熱、耳漏（耳だれ）、しきりに耳に手をあてる、不機嫌、食欲が落ちるなど

治療・・・薬による治療（抗菌剤や炎症を抑える薬を内服）。膿の排出（膿がたまっている場合は、鼓膜を切開して膿を出す）

注意点・・・完治に早くて1～2週間かかります。完全に治りきらないと滲出性中耳炎に移行することがあります。完治するまで治療しましょう。また、鼻かぜをひいたら鼻をかむようにしましょう。



【滲出性中耳炎】

のどの炎症が原因で耳管が詰まり、滲出液が鼓膜の内側の内耳にたまって起こります。アデノイド増殖症や副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎があるとかかりやすくなります。急性中耳炎から移行することがよくあります。好発年齢は1～6歳位。

症状・・・難聴、耳の詰まった感じ（痛みはほとんどありません）

治療・・・薬による治療（中耳の粘膜を正常化する薬や鼻水をおさえる薬）、鼻処置やネブライザー（鼻をきれいにする）、耳管通気（鼻から耳管に空気を送って、滲出液がなくなりやすくなる）

★以下の症状がみられた時は早めに受診を!!

- ①名前を呼んでも振り返らない
- ②テレビに近づいたり、音を大きくする
- ③聞き返しが多く、大きな声で話す
- ④よく耳をさわる

20人に1人が難治化し、400人に1人が後遺症を残すことがあります。

